

# つじなが便利



第235号

発行日 H28. 4. 1

発行 辻中眼科

編集担当者 山田 明日香

○診療時間 月・水・金 → 午前(9時~12時) & 午後(3時30分~6時30分)

火・木・土 → 午前(9時~12時)

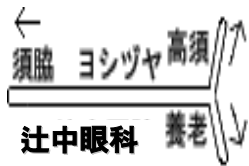
○休診日 日曜・祝祭日・火、木、土曜日午後

○ホームページアドレス <http://www.tsujinaka.jp>

つじなが便利

検索

← クリック!



○Eメールアドレス [tsuji\\_con@mti.biglobe.ne.jp](mailto:tsuji_con@mti.biglobe.ne.jp)

## さくら

院長 辻中まさたけ

日本の象徴的な樹木である「さくら」、幼い頃は何とも思わなかったが、年を重ねるにつれ、そして、春の訪れを毎年経験するにつれ、この「さくら」の木が意識されるようになった。今までまったくもって何ともないと思っていたでくのぼうみtainな木がここに「さくら」の木あり、と通りゆく者たちに叫ぶがごとく突然きれいな花を咲かせる。そして、見るものに春の訪れを知らせる見事な花は短期間のうちに吹雪となって散っていく。そして、葉を芽生えさせ、夏にはセミを育み、秋には葉を落とした骨格だけの寂しい木となる。

私を含めた日本人は古きより、どうしてこの「さくら」の木が好きで日本の象徴と思うのだろうか？アメリカなどでは花が落ちて周囲を汚したり害虫が繁殖したりするのであまり好まれた樹木ではないと聞く。

(次ページへ続く)

見事な花の開花と短期間のうちに散りゆくその姿が日本人の心情にマッチして  
いるのだろう。さらには、四季がしっかりと自覚される日本では、「さくら」の開  
花が一年という区切りの象徴であるとともに新しい一年の到来を予見させるため  
ではないだろうか？また、年を重ねるにつれ「さくら」が開花した時期にいろ  
ろ経験した事柄が淡い記憶となって留められ、開花とともにそれが走馬灯のよう  
に思い出されるからではないだろうか？

なにせよ、私は年々、「さくら」の木が気になるようになっていく。駐車場に  
「しだれ桜」と「ソメイヨシノ」の苗を植えたのもそのためだ。いつか将来、今  
は細くか弱いこの「さくら」たちが立派に大きく成長し、きれいな花を駐車場に  
咲かせ、通りかかった人たちを喜ばすことができれば幸いである、そして、この  
「さくら」の木々が、生きる人々の淡い思い出の風景の一部になれば、と思う。



散る桜

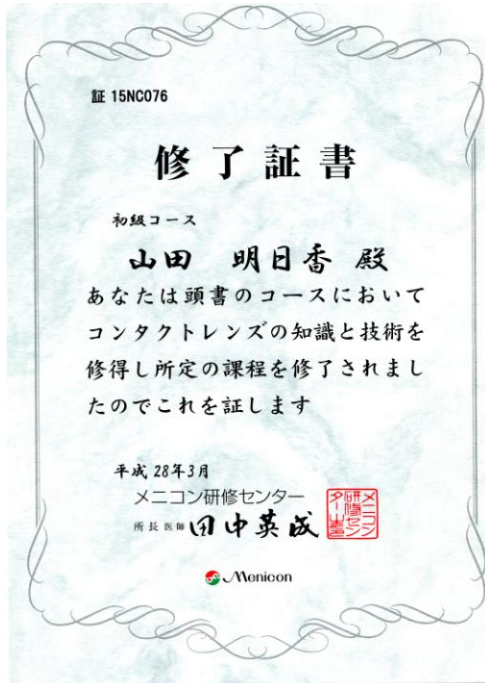
おくる桜も

散る桜

最近、この俳句がよく脳裏に聞こえてくる。

平成 28 年 3 月 20 日

# <メニコンの研修に行ってきました>



3月7日から11日までの5日間、  
メニコンの名古屋研修センターへ研修に  
行かせていただきました。

研修ではコンタクトについてだけでなく  
眼科の基礎知識についても学ぶことが  
できました。

そして、この研修で1番印象的だったの  
レンズの装脱着でした。

実は私事ですが、コンタクトレンズを4年間使用してきました。しかし、  
他の参加者にコンタクトレンズの装脱着をさせていただく研修をしました  
が、初めての事だったので最初はなかなか上手くいかず、講師の方に直接  
指導していただくことで次第にうまく出来るようになりました。

この5日間の研修はとても内容が濃く、話を聞くだけではなく、また、初  
めてのことばかりの貴重な経験をいろいろさせていただき、より深く学ぶ  
ことができました。

研修で学んだことを院内の業務に役立てていきたいと思っております。

文責 山田

## ●新しいスタッフの紹介●

検査助手 山田 明日香



3月に大垣養老高校を卒業しました  
初めてのことばかりで迷惑をかけるかと思  
いますが、1日でも早く自分1人で  
できるよう精一杯頑張ります。  
よろしくをお願いします。

## 退職するスタッフの紹介

臨床検査技師 伊藤紀子

3月25日をもちまして退職させていただくことになりました。  
こちらでの経験を生かしてこれからも頑張っていきたいと思  
います。  
お世話になりました。  
ありがとうございました。

## 往診について

往診をご希望の方は  
院長までご相談ください。

## 院外処方箋のお話

当院では、かかりつけの薬局で薬をいただける院外処方箋の  
発行をおこなっております。  
ご希望の方は、受付までお申し付けください。